

佛大の梅景・小川、同大の清水

3人娘 空手東アジアV

今春に空手の全日本強化選手に選ばれた京都の女子大学生トリオが団体形で世界一を目指している。初陣となった5月の東アジア選手権（マカオ）で優勝し、いきなり力を証明した。3人は「自分たちはできるという自信があった。感動してもらえるような形を見せたい」と愚もぴったりに語る。

団体形「夢は世界一」

佛大の3年梅景唯（華頂女）と2年小川彩月（大阪学芸）、同大2年の清水那月（高崎商科大付）。梅景と小川は初の日本代表入りで、佛大からの選出も初めてだった。

専門とし、全国高校総体で表彰台に立つなど活躍してきた。今回は3人が同時に演武する団体形のメンバーとして全日本強化選手に選ばれた。梅景は「団体での代表入りは考えたこともな

す。

団体形の練習は、歴代のチームが拠点としてきた大阪の道場で行っている。梅景はスピードのある動作の切り返し、小川は緩急としなやかさ、セントラーを務める清水は166^{センチ}の身長を生かした迫力ある技が特長。持ち味は異なるが、清水は「全員が練習中から明るい。世界で勝ちたいという思いが同じ」と力を込める。

東アジア選手権では香港と中国にいずれも5—0と完勝したが、「個人の力量をもっともつと上げないとチームとして良くなりない」と小川は振り返る。団体系は五輪種目ではないため、来年の世界選手権が3人の大きな目標だ。清水は「みんなの気持ちがそろふことで最終的に倍以上の力が出せるような練習をやらなくといけない」と前を見据える。



空手の女子団体形で世界を目指す(右から)梅景清水、小川(大阪市阿倍野区・研心館)

Kyoto & Shiga Sports

(後藤創平)